

公益社団法人日本看護協会
会 長 福井 トシ子 様
(政策秘書室扱い)

公益社団法人茨城県看護協会
会 長 白川 洋子

【Johnny' s Smile Up! Project 基金活用に係る要望書】
看護師等養成機関に対する PCR 検査費用の補助について

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本協会の運営につきまして、日頃よりご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、茨城県内の看護師等養成機関より病院を有しない看護師等養成機関の看護学生等の新型コロナウイルスワクチン接種のめどが立たず、ワクチン接種が課されている医療機関等における臨地実習ができないといった報告を受け、本会において調査したところ、2年課程で病院所属の学生以外の学生のほとんどがワクチン未接種という現状がございます。

また、この調査で、看護学生は臨地実習前にその都度 PCR 検査を求められ、経済的に困窮している看護学生や看護師等養成機関の検査費用負担が大きいといった問題があることが浮き彫りになりました。

昨年度につきましても、コロナ禍における医療提供体制の維持と感染予防の観点から、看護学生の受け入れ制限や中止とする実習施設が増えたことに伴い、各校では財政的厳しい状況の中、模擬患者やシミュレーター等を購入し、学内実習の充実を図ってきたところでございます。

臨地実習は、講義で学んだ知識や技術を実践に結びつけるために専門職教育には重要なものがあります。学内実習においてさまざまな工夫を凝らしながら対応してきたところではございますが、実際に患者を目の前にしての臨地実習の代替措置としては課題が多い現状がございます。

このような現状をふまえ、経済的に困窮している看護学生や看護師等養成機関の財政的負担を軽減し、滞りなく臨地実習へ送り出せるよう、貴協会の「Johnny' s Smile Up! Project 基金」の「看護学生への支援として看護師等学校養成所への支援事業に役立てる」という基金設立趣旨に基づき、各養成機関の PCR 検査費用補助について基金の活用されるよう格別のご高配を賜りますようお願いいたします。

また、病院実習を行う看護学生は医療従事者等とみなされ、優先的にワクチン接種を行うことができるようになっておりますが、前段で申し上げましたとおり、看護学生のワクチン接種が進んでいない状況もございますので、早急にワクチン接種を受けられる環境を構築していただけますようお願いいたします。

【問合せ先】

〒310-0034 茨城県水戸市緑町 3-5-35

公益社団法人 茨城県看護協会 担当 政策企画室長 菊池

TEL 029-221-6900 FAX 029-226-0493